

88 Surinam.

スリナムには Latente の表面組成出現し一部は赤鐵鑛をなせとも通例褐鐵鑛をなす。
 褐鐵鑛は鐵 54 パーセントを含み相當分量存在するならんも其量を測定するは困難なり。

St. Eustatins

St. Eustatins の南西岸にチタニウムを含める磁鐵鑛砂か海岸に沿ひ散在せり。

鐵鑛は磁鐵鑛及チタン磁鐵鑛よりなり後者は 15% チタン酸を含有せり、相當分量を有すれとも測定し得ず。

(又) 濠太刺利に於ける鐵鑛分布

濠太刺利の鐵鑛量

歐米に次て濠州の鑛量は比較的研究せられ New South Wales Victoria, New Zealand は相當探鑛の結果概算鑛量は判明すれとも西及南濠太刺利 Queensland, Tasmania の鑛量は探鑛全からず従て適確の數字にて該鑛量を示し難し。

濠州に於ける鐵鑛及相當鐵量(單位百萬噸)

國名及地名	鐵鑛變種	現存の鑛量		將來の推定鑛量	
		鐵鑛量	相當鐵量	鐵鑛量	相當鐵量
Western Australia					
wilgi Mia (wold Range)	赤鐵鑛にして磁鐵鑛を交ふ	—	—	26	15
Murchison Gold field					
他の鑛層	赤鐵鑛 褐鐵鑛 沼鐵鑛	—	—		相當多量
合計				26+	15+
South Australia				相當多量	相當多量

Iron Monarch & Ironknob	赤鐵鑛	—	—	21	12
Peralilla	褐鐵鑛粘土鐵鑛	—	—	0.1	0.05
Donnelly's	褐鐵鑛	—	—	0.5	0.25
合計				21.6	12.3

Queensland					
Mount Leviathan	赤鐵鑛	—	—	10.5	5.2
Mount Pisa	同上	—	—	1.0	0.5
Iron Island	磁鐵鑛及赤鐵鑛	—	—	2.2	1.3
合計				13.7	7

New South Wales					
Cadia	赤鐵鑛磁鐵鑛炭酸鐵鑛	39.6	21.8	—	—
Carcoar	赤鐵鑛褐鐵鑛	3.2	1.7	—	—
他ノ鑛層	褐赤磁鐵鑛	9.1	3.3	—	—
Williams & Karuah River	チタニウムを含む磁鐵鑛	—	—	2.1	0.94
Wingello	礬土鐵鑛	—	—	3	0.76
合計		48.9	26.8	5.1	1.7

Victoria	赤鐵鑛	—	—	適量	適量
Tasmania					
Blyth River	赤鐵鑛	23	15	—	—

66

Mt. Vulture, Barnes Hill

褐色及赤色の赤鐵礦にて磁鐵礦を交ふ

—

—

2

1

合 計

23

15

2

1

New Zealand

Parapara

主に褐鐵礦

64

32

—

—

New Plymouth

チタニウムを含める磁鐵礦

—

—

相當多量

相當多量

其他の鑛層

褐鐵礦

—

—

0.2

0.1

合 計

64

32

0.2+相當多量

0.1+相當多量

濠太利利の總計

135.9

73.8

68.6+

37.1+

西濠太利亞の鐵鑛

西濠太利亞の鐵鑛床は恐らく世界に於ても有數のものなるべきか地理上の關係及び石炭の欠乏より未だ開發せられず。

西濠太利亞の鐵鑛は下に大別して

1. 晶質片岩の胚胎するもの及び
2. 褐鐵鑛の表面推積及び比較的近來生成せる沼鐵鑛の柔軟有孔狀の鑛床より成る。
 - (1) 晶質片岩に胚胎するもの

此種の鐵鑛は尤も重大にして Murchison 地方に廣く發達せり而て尤も肝要の鑛床は Waihi (Wald Range) Mt. Hale, Mt. Taylor, Matthews 及び Galerindha に於けるものなり之等の場所以外鐵をふくむ片岩は Murchison Gold field の殆ど全部に並に Pilbara, Peak Hill, East Murchison Mount Margaret, North (oolgatie. 及び Yilgarn Gold field の所々に出現す要するに國の至るところに發見せらるゝか此の中尤も大且つ

豊富なる鐵鑛は Murchison にあり。

鐵鑛は殆ど純粹の赤鐵鑛の帶又は磁鐵鑛よりなり又は赤鐵鑛と石英との種々の割合に於ける混交よりなる。

Wilgi Mia (Wald Range.) Murchison Gold field

Wilgi Mia は Wald Hercules G. M. の東五哩にして Mt. Lulworth の南西約二哩の地點にあり。

鑛床は殆ど純粹の赤鐵鑛にして幅 150 乃至 200 尺最高 300 尺長さ三哩の山脈を形成せり。

鑛量は平地以上大略二千六七百萬噸と計上せらる此鑛床以外に尙小なる鑛床か Mt. Lulworth の北東方二哩の地點にあり而して品位は Wilgi Mia のものと同様なり。

之等鑛床は恐らく世界に於て尤も豊富なるものたるへさか現在は交通不便の爲又煤田より距れる爲に殆んど無價値のものとなれり。

Wilgi Mia に於ける鐵鑛は品位良好にして概して 63~68 パーセントの鐵分をふくみ隣並に珪石の分量極めて少し。

Mounts Taylor, Hale 及び Matthews.

Murchison の西方に (Sigma) 形の連山に於て Mounts Taylor, Hale, Matthews. 及び Yarrameedie. は著しく含鐵片岩に富める個所を形成せり。

Mount Narryer.

Narryer 山脈の麓に鐵鑛露頭出現し鑛床は厚さ八九尺にして地上二三尺に上れり、其他數多の同様の平均鑛床か又山脈に沿ふて現出せり鐵鑛は平均鐵分 56.7 パーセントを含有す。

Gabarrintha

Gabarrintha と Star of the East との中間に廣大なる鐵鑛床存在せり、此鑛床の生成の有様は Wilgi Mia

に於けるものと同様なり、鑛脈に約二哩半北南に走れる低き山脈を形成して平均高さ30乃至60尺其厚さは50尺乃至100尺内外なり、鑛量は地面の平準以上1,500,000噸と計上せらる。

鐵鑛は赤鑛鐵及び磁鐵鑛よりなり、チタン酸の多量を含有せり、鐵分略32パーセント内外を含有す参考の爲下に主なる Murchison に於ける鑛床の最寄鐵道驛並に海港よりの距離を掲記せり。

鑛床	最寄海港場及其距離	最寄鐵道驛よりの距離
Wilgi Mia	302.哩 Geraldton	40哩 Cue
Mt. Hale	390 " "	80 " Nannine
Mt. Narryer	362 " "	100 " Cue
Gabarintha	330 " "	20 " Nannine

(2) 表面堆積及沼鐵鑛

表面組成は laterite ore 及び沼鐵鑛をふくみ至るところに散在すれと組成區々にして一定せず、單に銻劑として極めて少量用ひられたるに過ぎず。

沼鐵鑛は比較的近頃の組成にして南方及西方海岸線に沿ふて一二個所に出現す。Hordman's Lake の東側に於て以前湖底の一部なりし箇所此鑛床存せり。

南濠太刺利の鐵鑛

Cutana

Mingary 停車場の10哩南方にある地方にして鐵鑛は主に褐鐵鑛なれとも赤鐵鑛も亦出現す此地方は多量の鐵鑛を有し鑛床の厚さ100尺乃至200尺なり。

今鑛床の厚さ15尺と假定すれば一エーカー(acre)に約6000噸の鐵鑛を包含することゝなる。而も此地方に於て尤も大且つ連續せる地域にて30エーカーに達せるものあるを以て其鑛量の大小

なるを推知し得へし。

鐵鑛は概して鐵分 49.73 パーセントを含有す。

Iron Knob.

August 港より七哩西南西にある地方にして鐵鑛は主に赤鐵鑛にて露頭は20チェーン(Chain)の距離に擴かる。

Iron Monarch.

鑛床は高さ600~700尺の岡丘の頂上に存し廣袤五十エーカーに擴かり厚さ100乃至150尺を有す

今假に鑛床の厚さ100尺として其鑛量は2000000噸を包容することを知る尙此外鑛床より分離したる鐵鑛の多量か附近に散在せり鐵含有量66%。

Iron Knob及Iron Monarchは單一の鑛床を形成せるものと思惟され品位良好の鐵鑛及マンガン鑛を合し約鑛量21000000噸に達す。

尙熔鑛に要する石灰石の多量はSpencer灣の沿海に散在せり。

Mount Jagged.

Victor 港より十三哩北方にありて鐵鑛は石英を隨伴す附近には石灰石の多量をも存す。

鐵鑛は66.34パーセント鐵分を含めり。

Peralla.

Victor 港の七哩北方にあり鐵鑛は褐鐵鑛及び粘土鐵鑛にして鑛量100000噸内外、鐵鑛分析の結果鐵分45.9パーセントを含有せるを知る。

Oodla Wirra.

Oodla Wirra 驛より四哩の地にあり。

Donnelly's 地方

此地方には主なる露頭五ヶ所に現はる鐵鑛は褐鐵鑛にして褐鐵鑛及ひマンガンの數多の小さな露頭存在せり。

鑛量は大略 470000 噸とす。

クキンスランドの鐵鑛

Mount Leviathan :

クキンスランドの鐵鑛層中て尤も大なるものにして Carpentaria 灣に於ける Normanton 港より 250 哩の地點にあり。

鑛床は高さ 200 尺麓に於ける直徑約一哩の丘陵より成り其大部は塊狀若しくは粒狀の殆ど純粹の鐵鑛よりなり只僅かに少量の硅砂を含めるのみなり。

Dunstan 氏の計算によれば山麓以上鑛量は赤鐵鑛の 10500000 噸を含有す。

Mount Pisa:

Mount Leviathan より二哩ありて同様 Dunstan 氏の測定によれば鑛量 1000000 噸を有するとせらる。

Kangaroo Hill

東海岸に於て Halifax 灣口より最短 30 哩の地點にありて鑛床は佳なりの丘陵を形成し廣大なる鑛脈をなし約 905 メートル追跡し得。

Loon Island

Iron Island は長さ尤も長さ個所 402 メートル幅廣き個所にてのチェーンを有せる島嶼にして最高所は 120 尺より其大部は塊狀赤鐵鑛を有せる磁鐵鑛よりなり不純物は痕跡に過ぎず鑛量は Pitt 氏

により干潮平準以上 2250000 噸と計上せられたり。

ニューソースウェルス(New South Wales)の鐵鑛

本州に於ける鐵鑛床は二百有餘もあれとも多くは微々たるものにて製鐵業者に一顧の値もなき程のものなれとも然し特に卓絶したる鑛床は Carcoar 附近の Coombing Park に於けるものと Cardia 附近に於けるものなり。

全量を世界の大型鑛床と比較すれば如何にも微々たるものにして下表は探究の行届きたる範圍内の鑛量に過ぎず且つ下地の鑛床は現在石炭供給の便宜の地點にあるところのものゝみを擧げたるものにて煤田と交通不便なる地若くは遠距離にある鑛床は省略せり而も夫等邊隔の地にある鑛床に關し今日精細の報告を與ふことは至難とす。

鑛 層 地 方

鐵 鑛 種 類

鑛 量 噸

Cardia	赤鐵鑛磁鐵鑛炭酸鐵鑛	39000000
Carcoar	赤鐵鑛褐鐵鑛	3168000
Gulgong	磁鐵鑛	120000
Cowra	”	100000
Queanbeyan	”	1000000
Southern	褐鐵鑛(鐵泉)	1510000
Breadalbane	褐鐵鑛及赤鐵鑛	700000
Goulburn	褐鐵鑛	1022000
Mandurama & Woodstock	”	609000
Marulan	褐鐵鑛及磁鐵鑛	40000

Mudgee 褐鐵鑛及磁鐵鑛 150000

Newbridge, Blayney & Orange ” 150000

Rylstone & Gudgeong 褐鐵鑛 433000

Wallerawang & Pipers Flat. ” 200000

48202000

追 補

Williams & Karuah River タタニウムを含める磁鐵鑛(titaniferous Magnetic ore) 2021000

Wingello 礬土鐵鑛 (Aluminous ore) 300000

5021000

全 總 Carcoar 及び Cadice の鐵鑛床 53223000

上述の通り之等鑛床は地域も廣大にして品質又佳良なる上石炭及石灰石を得るにも便宜の地にあるを以て此州に於ける尤も重大のものに算せらる Carcoar 及 Cadice は相互に15哩を距れるのみ。

Carcoar に於ける鑛床

Carcoar に於て鐵鑛は Portion 66, Parish of Somers 及び Carcoar より2½哩距れる南方附近の地に出現す鐵鑛は緻密にして褐色又は赤褐色時には暗紫色を呈し大部は赤鐵鑛よりなり多少の褐鐵鑛を交ふ褐鐵鑛の多量又此鑛床の或附近に出現せし鐵分多量を含めとも矽石の量多きを以て熔劑として用ひられます。

Carcoar の鐵鑛は Jaquet 氏の測定にすれば平均鐵分33パーセント矽石10%其他を含有す。鑛量前表に示せる如く3163000噸にして主たる鑛床の廣袤は約長さ3163尺深さ125尺厚さ80尺とす。

Carbia に於ける鑛床

Carbia に於ては相互に一哩半距れる二地方及び Western Railway line より十一哩距れる Millthorpe に鐵鑛床露出せり、一は Portion 37438 Parish of Waldegrave にあり Canoblas 銅山會社(Canoblas Copper Mining Co)の所有にして他は Portion 147, Parish of Clarendon & Portion 83 Parish of Waldegrave にあり、オーストラリヤ鑛山會社に屬し Iron Duke Mine として知らる。

之等鑛床は Carcoar と同時代の岩石を出現すれとも實質上 Carcoar の鑛床と相違せり。

Canoblas Mine

此鑛山には二個の大なる露頭と一の小なる露頭あり、第一の露頭は 3.5 エーカーの面積に擴大し 900 尺の長さ山側に走れり、第二の露頭は 1100 尺に延び 4 エーカーに擴かれり。

Iron Duke Mine

此鐵山は前の Canoblas の鑛床より一哩半西北西の方向に距れり、鐵鑛床は長さ 3000 尺厚さ約 80 尺露出し露頭は 40 acre の面積上に擴大せり。

鐵鑛には酸化せられたるものと然らざるものとありて前者は赤鐵鑛よりなり多少の磁鐵鑛を雜交す、而して鐵含有量は 57~65 パーセントにて硅石 9~10 パーセント、燐 0.013~0.051 をふくむ。後者は數ヶ所に露出して炭酸鐵鑛、黃鐵鑛の少量等を含めるにより前者と區別せり。

鑛量

Canoblas Mine

3000000 噸

Iron Duke Mine

36000000 "

磁鐵鑛床

磁鐵鑛は New South Wales の諸所に出現すれとも豊富の磁鐵鑛を産出し得る鑛床は極めて僅少な

り次に掲ぐるものは踏査されたる範圍内に於て比較的重大のもののみなり。

Gulgong 地方

Denison 街道に沿ひ Gulgong の北北西約十二哩の地域にて一部は Portion I, Parish Tallewang 而して一部は同しく Crown Lands にあり。

尤も大なる鐵鑛露頭は長さ 175 ヤード 廣さ 20~30 ヤードの低き山脊を形成せり、此地には尙二個の小露頭もあり、品位良き鐵鑛は鐵分 65.12 パーセントを含めり。

鑛量、是等鑛層は未だ採鑛せられざるも深さ二十尺あるものと假定して約 12000 噸の鐵鑛を含有すへし。

Cowra 地方

Broula 連嶺の麓にして Cowra Parish of Broula より十一哩半の地にあり。

鑛脈の露頭のチェーン (Chain) 以上追跡し得へく其廣さは約半チェーンありて鐵鑛の大部は非常に純粹の塊狀磁鐵鑛よりなる。然し鑛床の北端に近く石榴石の混交せるあり、又場合により黃鐵鑛黃銅鑛螢石等を含むことあり露頭に沿へる鐵鑛は時により褐鐵鑛又は赤鐵鑛に變化せることあり鐵含有量平均 65~67 パーセント、

鑛量 Broula 連嶺に於ける鑛量は約 100000 噸磁鐵鑛なること前表示す如し。

Queanbeyan 地方

Queanbeyan より西 16 $\frac{1}{2}$ 哩の地にありて磁鐵鑛の大なる鑛床は Paddy's 河床より山側に沿ひ擴大せり露頭は長さ 20 チェーン 廣さ 10 チェーンありて鐵鑛は大部分品質良き磁鐵鑛よりなり角閃石の多少を雜有せり、數ヶ所には時には黃銅鑛の小量を含有せるものあり、鐵含有量は 64.9 パーセント内外なり、鑛量良質磁鐵鑛約 1000000 噸を有す。

Mittagong 其他地方の鐵泉

Mittagong, Moss Vale, Picton 及び Illawarra 地方に於て鐵泉床出現せり。

之等鑛層は褐鐵鑛の不規則の形をなせる表面堆積よりなれり。

鑛量約 1510000 噸

種々の鑛床

Breadalbane

Breadalbane と Cullerin 間南部鐵道線(Southern Railway line)の東側にあり。

鐵鑛は緻密にして暗褐色又は藍黑色を呈し褐鐵鑛にして赤鐵鑛の小量且つ不定量を混交せり、此地方の鑛床は前述の Coombing Park, Carcoar 等の鑛床に極めて酷似せり。

鑛量約 700000 噸にして鐵分 58—59 パーセント内外を含有せり。

Goulburn.

南部鐵道幹線(Main Southern Railway line)に於て Goulburn 附近に數多の褐鐵鑛床出現す、鑛床は多少海綿狀褐鐵鑛の不規則なる塊よりなり板石、石英岩等に胚胎す。

乍然之等鑛床は單に表面堆積に過ぎずして地表以下に擴大せるものにあらざるへし。

鑛量 1022000 噸

Mandurama 及び Woodstock 地方

褐鐵鑛床 Mandurama 及び Woodstock 地方諸所に出現す此中重なる鑛床は Ofielden Estate, Portion 13,

Parish Walli にありて鐵鑛は石灰岩に出現せり。

鑛量 609000 噸鐵分一定せされとも大略 52—56 パーセント

主なる鑛床は Martian-Goulburn 街道の南側に於て Martian より六哩距れる地點の "Carrington" 鑛脈として著名なり。

此鑛床は鑛脈の凡ての特徴を有し露頭鐵鑛は地表下少くも七十尺は存在す主として褐鐵鑛と赤鐵鑛の混交よりなれり。

鑛量、此地方に於ける鑛量は 40000 噸を計上せらる。

Mudgee

此地方に於ける主なる鑛床は Cassilis 街道に於て Mudgee より十四哩半 N. E. Parish of Wyaldra に出現す。褐鐵鑛及びフェロマンガンの一大露頭南北に 200 ヤード延ひ外見上の廣表は約 15 ヤードを有す。

鐵鑛の大部分は緻密にして少量の不純物を含めり、凡て鐵鑛はマンガンの多量を有し恰もマンガン鑛と稱し得る程のマンガンの多量を有せり。

鑛量 150000 噸、鐵分大略 54.67 パーセント。

Newbridge, Blayney 及び Orange

之等地方には數多の鑛床存在し中尤も重要な鑛床は Newbridge 驛附近にあるものなり。

Newbridge に於ける鐵鑛床は雲母片岩の低き山脊の北端に出現し良質の褐鐵鑛よりなれり。

鑛量 150000 噸内外にして鐵含有量約 55 パーセント以上。

Rylstone & Gudgeong 地方

Rylstone & Gudgeong 区域内に褐鐵鑛床ありて其内尤も重要なものは Rylstone より八哩西 Portions 97 &

134 Parish Dungearee にあるものにして鑛床は褐鐵鑛の表面堆積の塊よりなれり。

鑛量 433000 噸。

Wallerawang 及 Piper's Flat District

Wallerawang 及 Piper's 地方に Clay band ore 出現し尙此外記録し得べき褐鐵礦の二鑛床あり。Clay band ore は實質は褐鐵鑛にして鐵鑛は一般に褐色を呈し結核的構造をなせり。之等鑛床は一部鐵鑛に依て置換へられたる粘板岩の帶と考へらる。然も經濟上價值あるものとは認められず Clay band の外に褐鐵鑛の二鑛床ありて鐵の相當量を含有すれとも亦燐の多量を含めり。

鑛量 Clay band ore を除き褐鐵鑛の含有量は約 200000 噸なり。

チタニウムを含める磁鐵鑛(Titaniferous Magnetite)

Stephens 港地圖にては Clarence town の北西 Williams 川及 Karrah 川附近に Titaniferous Magnetite の廣大なる鑛床存在す。鑛床の調査せられたる約 3 個所に及び鐵鑛は鋼色粒狀のチタニウムを含める磁鐵鑛よりなりて砂及長石の或量を隨伴せり。而して此地方に於ける砂岩及凝灰岩は磁鐵鑛の多量を含ませり。

鑛量 2021100 噸

Pisolitic ore

Bauxite 及び礬土鐵鑛床か Wingello に出現す Pisolitic iron stone は此州の他の方面に於て特に Inverell 及び Emmanville 地方に於て廣大なる地域を占有せり。Wingello に於ける Bauxite ore は低き孤立の平坦なる丘陵の頂上に 10 尺乃至 20 尺の厚さの鐵鑛に出現せり。

鐵鑛は 14~25 パーセントの鐵をふくみ遊離礬上の多量を隨伴せり。

鑛量

鎔鑛上より尤も重要な鑛床は鐵 20-25 パーセント 硅石 30-12 パーセント 礬土 30-37 パーセント 及び燐 0.08 以下を含める鐵鑛 1500000 噸と計上せられ此外他の鑛床は鐵鑛約 3260000 噸を含む但し實際利用し得べき鑛量は 3000000 噸以下なるへし。

タスマニヤ(Tasmania)の鐵鑛

タスマニヤに於ける尤も重要な鑛床は本島の北西部に於て海岸約の哩半ある Blythe 河附近の Blythe River 鐵鑛床なり、此外數多の小鑛床ありて一部は北西部に於て Dial range の内に一部は本島の北東部の Beaconfield 及 Salisbury 地方にあり。

Blythe River 鐵鑛床

此鑛床はカムプロシルリアンの片岩及び砂岩に包まれたる赤鐵鑛床の形にて出現す。鑛量 Twelvetees の測定によれば水準以上に存在する鑛量は約 23000000 噸と計上さる。

Dial Range の鐵鑛床

砂岩及び石英岩に胚胎し比較的大區域に散在すれども、多大の量を集蓄せる個所は一もなし。ビーコンスフキルド及びサリスベリー地方には褐色又は赤色赤鐵鑛及び磁鐵鑛床存在せり鐵鑛は Mount Vulcan 及び Barnes Hill に於ける如く一部は蛇紋石に胚胎し一部は Ilfracombe 鐵山の如く蛇紋石は近く砂岩に出現せり、初めの二者は酸化クロミウムの 6-7 パーセントを含有すれども Ilfracombe に於ける鐵鑛は之を含ます、他の夾雜物の分量は兩者略ほ匹敵せり。

鐵分は概して 50 乃至 55 パーセントを含み鑛量は Vulcan 及 Barnes の二山に於けるものは山麓以上約 20000000 噸とす。

ニュージールランド(New Zealand)の鐵鑛床

ニュージールランドの英國領には鐵鑛床の多數存在すれど、其中尤も廣大なるは South Island に於て

Nelson 地方の Parapara にあるものと New Plymouth に近くタスマン海 (Tasman Sea) の海岸に出現せるものとの二つなり、其他小鑛床は North Auckland の Waitemai の河上流にあるものと同じく North Auckland の Keri Point に存在するもの其他あり。

Parapara の鐵鑛床

鑛床は Parapara 灣附近に露出し殆んど六哩間 Golden Bay の海岸に略ぼ平行して結晶石灰岩の帯に沿ひ散在せり、而して該延長の間に鑛床の三つの判然たる集團ありて尤も北方にありて正平方哩の區劃をなすものを Wash bourn Block と云ひ、中間にあるものは大さ略ぼ之れと同様にして Tukunua Block と云ひ、尤も南方にあるものを Onakaka Block と稱し南北二哩東西一哩半の地域を有せり。

凡て之等 Block に於ける鐵鑛は褐鐵鑛よりなる、此三ブロックに於ける鐵鑛品位は概して良好にして就中 Wash bourn Block に於ける鐵鑛を第一とす。

不純物としては一般に燐硫黄等を含有すれども、鐵鋼製造に有害なるほどの量をふくまず。鐵鑛品位は全般を通してき乃至 90 パーセントの間にあり。

鑛量 上記三區劃に於ける鑛量は蓋し莫大のものなるへきか未だ地下の探鑛充分行はれざるを以て精確の量を測定し得ず、表面境界尤も不規則なるにより従て地下の甚だ複雑せることを豫想し得 Wash bourn に於て概算鑛量は約 23560176 佛噸に上るへく Tukunua に於ては約前者の半分以上にして 11000000 噸と見れば大差なかるへし。

Onakaka に於ては大略 30000000 噸の鑛量を包含すへく要するに三者合して概算 46000000 噸なるへし。凡て Parapara に於ける鑛床は交通至便の地にあり、且つ露出せる鐵鑛は採掘容易にして硅質並に石灰質の銹劑は此鐵鑛床附近には甚だ豊富にして石炭は分量に限りあるも約七哩を距れる石炭層より得らる。

164 New Plymouth の鐵鑛床

鐵鑛床は North Island に於て New Plymouth 附近に出現す Parapara に於ける鑛床とは其性質相違して鑛床は磁鐵鑛砂よりなり、多少チタニウムを含めり鑛量は恐らく數百萬噸にも上るへきか精確なる量は測定し得ず。

鐵含有量は概して80パーセント内外にしてチタニウム約10パーセントを含めり。

小なる鐵鑛床

North Auckland に於て Bay of Islands の約十六哩西 Waitangi 河上流附近に出現せる鐵鑛床は上に記載せる鑛床と比すれば甚た微々たるものなり。

鐵鑛は品位良き褐鐵鑛にして約80パーセントの鐵を含有せり、鐵鑛存在の區域は0.5エーカーにして厚さは4尺乃至10尺以下なり。

鐵鑛は品位良好なれとも其鑛量は10000噸以下にして商業上の企業には適せず。

New Zealand の極北に於ける Kerr Point の鑛床は褐鐵鑛にして鑛床は連續性にあらすして粉末又は數噸の塊狀其他大さ不定なる碎片の集合せるものよりなれり。

鐵鑛は數エーカーに散布すれとも其鑛量は恐らく10000噸以下なるへく鐵含有量は平均60パーセント内外なり。

ニュージーランドには未だ探鑛せられざる個所多々あるを以て尙新鑛床の發見せらるゝ餘地あり、上記の地方以外に赤鐵鑛褐鐵鑛沼鐵鑛等の鑛床諸々に出現すれとも其鑛量も少く廣袤區域も不精確なり。

砂鐵は South Island の西海岸に於て Westport 及び Jackson Bay の間の海岸に沿ひ處々に散在せり。

Lalial 其他の鑛床

Ballarat の南東にありて鐵鑛は硅質の褐鐵鑛にして鑛量は 742000 噸と計上せらる。同様の鐵鑛か Mirboo の附近中部 Gippsland の新生代の鑛床に出現すれとも、硅素の含有量多大なる爲經濟上の熔鑛には不適當なり。

Nova Nova 附近の鑛床

Lake Tyres の北東ビクトリヤに於ける Nova Nova 附近の鑛脈は比較的最近の發見に拘るものにして一種の斑岩 Snowy River Porphyries 内に赤鐵鑛の鑛脈として廣く散布せり。

Nova Nova には二個の大なる鑛床ありて一は Nova Nova 山の南脊にありて露領はヤ哩追跡し得べく場所により廣さ約 30 尺ありて赤鐵鑛よりなり鐵分 70 パーセントを含有せり、概して東部ビクトリヤの鑛石は良品位なり。

Snowy River Porphyries に於ける鐵鑛脈(iron stone lode)の第二は Nova Nova の北八哩の地點に出現す尤も著名の脈は "Iron Mask" と稱せらる幅 40 尺乃至 60 尺を有し滿俺鐵よりなり滿俺 80 乃至 88 パーセント鐵 16 乃至 24 パーセント硅石 30 乃至 13.7 パーセントを含有せり其他多少の金銀をふくめり。

硅質鐵鑛(Siliceous iron-stone)の數多の露頭此地方に出現し Bonang の如き遙か北東方にも出現す、Nova Nova 附近のものをとり分析せるに概して鐵分 60 パーセントを含めり。

Iron Stone の鑛脈は Heathcote の近傍及び Lancefield の近傍 Mount William の如きビクトリヤの他の地方にも出現す、而して之等鑛脈は Heathcote Rock の輝綠岩内に現はる尤も其賦存の状態は將來稼行するほど有望ならず。

要するにビクトリヤに於ては iron-stone の莫大量ありて廣く散在し其品位も間々良好のものある

を以て他日本州に於ける資源たるの期あるは疑を入れず。